

令和3年度

第3回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和3年5月12日(水)
開会13時35分 閉会14時

場 所 教育委員室

令和3年度
第3回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 報 告

- ① 令和4年度教員、民間人校長及び教育庁職員（埋蔵文化財担当）
採用選考試験実施要項について
- ② 令和3年高等学校新規卒業者の就職状況について
- ③ グローバルリーダー育成塾の開講について

(2) その他

【内 容】

1 出席者

| | | |
|-----|------------------|-----------|
| 委 員 | 教育長 | 工 藤 利 明 |
| | 委 員 (教育長職務代理者) | 林 浩 昭 |
| | 委 員 | 岩 崎 哲 朗 |
| | 委 員 | 高 橋 幹 雄 |
| | 委 員 | 高 鈴 木 恵 代 |
| | 委 員 | 岩 武 茂 代 |
| 事務局 | 教育次長 | 渡 辺 登 |
| | 教育次長 | 久保田 圭 二 |
| | 教育次長 | 米 持 武 彦 |
| | 教育改革・企画課長 | 重 親 龍 志 |
| | 教育人事課長 | 大 和 孝 司 |
| | 高校教育課長 | 三 浦 一 雄 |
| | 教育改革・企画課 主幹 (総括) | 門 野 秀 一 |
| | 教育改革・企画課 主査 | 末 松 敬 雅 |

2 傍聴人

3 名

開会・点呼

(工藤教育長)

委員の出席確認をいたします。

本日は、全委員が出席です。

なお、新型コロナウイルス感染防止の観点から、議題ごとに、関係課長のみ入室しますので、よろしくお願いします。

(工藤教育長)

それでは、ただ今から、令和3年度第3回教育委員会会議を開催します。

署名委員指名

(工藤教育長)

本日の議事録の署名については、林委員にお願いします。

会期の決定

(工藤教育長)

本日の会議はお手元の次第のとおりです。会議の終了は14時10分を予定していますので、よろしくお願いします。

議 事

【報 告】

① 令和4年度教員、民間人校長及び教育庁職員（埋蔵文化財担当） 採用選考試験実施要項について

（2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室）

(工藤教育長)

それでは、報告第1号「令和4年度教員、民間人校長及び教育庁職員（埋蔵文化財担当）採用選考試験実施要項について」教育人事課長から説明をしてください。

(大和教育人事課長)

4月に協議をしました「令和4年度大分県公立学校教員採用選考試験」の実施要項が、お手元の黄緑色の冊子のとおりにまとまりました。5月6日に大分県教育委員会のホームページに掲載するとともに、報道発表、実施要項の配布を行っております。

なお、お手元の青色の冊子「募集案内」とともに、県内外の大学等に配布し、試験内容の周知を図っております。

広報については、5月7日からZoomを利用したオンライン説明会を開始しており、今月の21日までに、一般の方を対象とした説明会を3回、県内外の大学生を対象とした大学別の説明会を8回予定しています。

また、実施要項についての説明や大分県の教員の魅力が伝わる動画を「教育庁チャンネル」に掲載しております。

特別選考の広報については、他の自治体、県内の福祉施設団体、障がい者スポーツ協会等に実施要項を配布しております。

さらに、お手元のチラシ「他県教諭特別選考のご案内」のホームページの掲載、移住促進を担当する「おおいた創生推進課」への情報提供、県立学校の同窓会への広報の依頼などにより、PRに努めていきたいと考えています。

次に、お手元の資料「民間企業等での管理職経験者を対象とした令和4年度大分県公立学校『校長』採用候補者選考試験実施要項」をご覧ください。

教員採用選考試験と同様に、5月6日に大分県教育委員会のホームページで公表するとともに、報道発表、実施要項の配布を行っております。また、お手元のチラシ「大分県公立学校民間人校長募集」についてもホームページに掲載しております。県内経済団体、県外の大分県人会への周知依頼、全国都道府県教育委員会等への要項送付、全国版の新聞への広告掲載などをとおして人材確保に努めていきたいと考えております。

次に、お手元の資料「令和4年度大分県教育庁等職員（埋蔵文化財担当）採用選考試験実施要項」をご覧ください。

これについても、5月6日に大分県教育委員会のホームページで公表するとともに、報道発表、実施要項の配布を行っております。県内外の大学等や関係機関に要項を送付するなど、人材確保に努めていきたいと考えております。

報告は、以上です。

(工藤教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(高橋委員)

移住促進の担当課に周知をすることは非常にいいことだと思います。教育学部に進学が決まった高校3年生に対して、先生から個別に大分県の教員になるよう声かけを行ってはどうか。そうすることで、大分県に教員が必

要であるという認識が生まれてくると思います。

(渡辺教育次長)

若者の県内就職を促進するための Web マガジンである「オオイタカタテ！」などを活用して、県外の学生に対してのアプローチもできますので、そういったことを研究したいと思います。

(岩崎委員)

コロナ禍にあるわけですが、今年の募集にあたって、広報で重点的にやることは何ですか。

(大和教育人事課長)

合計 11 回行うオンライン説明会を中心にやっていくことを考えています。
実は、今も別の場所で担当職員がオンライン説明会を実施しているところです。

(岩崎委員)

オンライン説明会は今年度からですか。

(大和教育人事課長)

今年度からです。

② 令和3年高等学校新規卒業者の就職状況について

(2 課〔教育改革・企画課、高校教育課〕入室)

(工藤教育長)

次に、報告第2号「令和3年高等学校新規卒業者の就職状況について」高校教育課長から説明をしてください。

(三浦高校教育課長)

「令和3年3月高等学校新規卒業者の就職状況について」報告します。

資料をご覧ください。これは紹介就職のみを対象とした、大分労働局のデータを元にまとめた資料です。

「1 紹介就職【内定者数、内定率、未内定者数】推移(年別)」の表は、紹介就職の内定者数、内定率、未内定者数の年次毎の推移を示したものです。令和3年3月末の就職内定率は99.3%であり、コロナ禍ではありましたが、昨年度同様に高い水準を維持しております。これは、各学校において、生徒の希望進路に応じたきめ細かな指導の成果ということだけでなく、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前に採用計画を立てられていた企業が多かったことや、令和3

年3月末の求人倍率が1.78倍であったことからわかるように、求人状況も高水準を維持していたことが、就職内定率が同水準であった要因であると考えられます。また、令和3年3月末の就職未内定者数は16人となっております。未内定者については、卒業後も各学校の卒業生相談窓口等が中心となり、生徒の希望進路達成に向け、ハローワークや関係機関と連携し、引き続き就職支援を行っています。

次に、「2 県内就職状況（R3.3月末）です。就職内定者のうち県内で内定した者の割合は75.3%で、昨年度同期と比べ1.8ポイント増となっております。これは、コロナ禍の影響による県内志向に加え、県内企業説明会のオンライン化等の取り組みの成果によるものだと考えています。

県教育委員会の取組としては、資料の下に記した①～④を実施し、生徒の就職支援を行っています。このうち①～②は高校教育課と大分労働局、商工観光労働部との連携で取り組んでいるものです。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を把握するために、今年度は9～10月に学校訪問を実施する予定です。学校訪問等を継続的に行いながら、各学校が生徒一人一人の希望進路の実現に向け、きめ細かな進路指導を行えるように支援していきます。

以上です。

(工藤教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見なし)

(工藤教育長)

大変心配したのですが、昨年同様の結果となりました。

また、未内定者については、引き続き支援をしていきます。

③ グローバルリーダー育成塾の開講について

(2課〔教育改革・企画課、高校教育課〕入室)

(工藤教育長)

次に、報告第3号「グローバルリーダー育成塾の開講について」高校教育課長から説明をしてください。

(三浦高校教育課長)

「グローバルリーダー育成塾の開講について」説明します。5月23日(日)、県教育センターにて、県内高校生を対象としたグローバルリーダー育成塾を開講します。平成28年度の開始から6年目を迎える今年度は、県内30校から過去

最高の約680名が参加します。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、全ての生徒を会場に集めることはできませんが、昨年度に引き続き、会場と参加校、更には参加校同士をオンラインでつなぐことで、生徒を分散させつつ、生徒が学校の枠を越えて意見を交わすことができる環境を提供します。

合わせて、昨年、APU（立命館アジア太平洋大学）と共同で開設したオンライン・グローバル・キャンパス第1期生の閉講式、また、一昨年、スタンフォード大学と共同で開設したスタンフォード大学遠隔講座第2期生の閉講式を行います。

閉講式では、オンライン・グローバル・キャンパスの成績優秀者である大分豊府高校3年生の佐藤 愛莉（さとう あいり）さん、佐伯鶴城高校2年生の松本理恵（まつもと りえ）さん、スタンフォード大学遠隔講座の成績優秀者である大分豊府高校3年生のブルカート 花（ブルカート ハナ）さん、宇佐高校2年生の奥田 弥陽乃（おくだ ややの）さんが、成果報告として、社会課題の解決策についてのプレゼンテーションを英語で行います。

今後こうした取組を通じて、世界に挑戦し、多様な価値観を持った人々と協働して未来を切り拓いていくことができる「グローバル人材」の育成に努めていきます。

以上です。

（工藤教育長）

ご質問・ご意見はありませんか。

（林委員）

第2期スタンフォード大学遠隔講座の成績優秀者2名の発表タイトルは、どのようなものですか。大変興味があります。

（三浦高校教育課長）

大分豊府高校3年生のブルカート 花さんの発表タイトルは、「差別問題について『学び、考え、行動する』草の根運動の展開」です。もう1人の、宇佐高校2年生の奥田 弥陽乃さんの発表タイトルは、「ランドセル等のリサイクルを通じた開発途上国に対する教育支援」となっています。

(工藤教育長)

最後にその他、何かありますか。

(工藤教育長)

ご案内のとおり、私は、5月15日をもって任期満了となります。教育委員会会議に出席するのは、今回が最後となりますので、一言申し上げます。

振り返りますと、6年前に大分県教育委員会教育長を拝命いたしました。皆様のご協力をいただいて、6年間、何とか大過なくやってこれたと思います。

この6年間、平成20年の事件に係る対応をずっとしてきました。それこそ、大分県の全ての子どもたちに未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせるという理念の基に、一丸となって学校現場の支援をしてまいりました。そのおかげで、学力・体力が右肩上がりの状況をつくることができていると思っております。

また、あの事件から13年が経過して、ようやく全ての対応が終わるという状況にきました。これもひとえに、皆様のいろいろな形でのご支援・ご協力のおかげだと改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

まだまだ課題も多く、何と言っても、現在はコロナ禍の中で子どもたちが苦しんでいる状況なので、少しでも子どもたちが安全・安心な学校生活を送れるように、また皆様と一丸となって学校現場を支えていく必要があると思っております。

私は、退任となりますが、いろいろな形で皆様の活躍を見守っていきたくと思っております。当面の予定は特にありませんが、野山に出かけ自由に謳歌できればいいなと思っております。本当に長い間、ありがとうございました。

(林委員)

工藤教育長には、農林水産部長の時からお世話になりました。教育長になられたことにはびっくりしたのですが、諸課題に果敢に取り組み、また、一人で突っ走るのではなく、私たちも含め多くの職員と意見交換をしながら、最善の解を見つけていただいたのではないかと思います。これからも、ぜひ体を大切にされて、今後の人生を謳歌していただきたいと思っております。ありがとうございました。

(岩崎委員)

この6年間ありがとうございました。工藤教育長の強いリーダーシップもあり、平成20年の事件に関する訴訟関係が求償権に関する履行も含め全て終了したことは、大分県教育委員会が新たにいろいろな事柄に取り組むための前提として評価できるのではないかと強く感じています。この6年間には、平成20年の事件の問題だけではなく、様々な問題が教育委員会の関係する学校現場でも起こりましたが、これらの問題について組織的な対応をすることで大きな間違いもなく対処できたというのは、工藤教育長のご指導のおかげだと考えております。何よりも、大分県の教育はどのようにあるべきかという方向性をきちんと示して大分県教育委員会の実績をあげていただいたのも、工藤教育長のご指導によるものと思っております。ありがとうございました。

(高橋委員)

長年、ご苦労さまでした。工藤教育長は、中部振興局長の経験もあったことから、地域振興や災害時の文化財保護にも真剣に取り組んでいただいたと思っています。

私が一番思い出に残っているのは、移動教育委員会や地域別意見交換会で、各市町村の教育委員の皆様などの意見を聞いて、それを真摯に受け止めて次の課題の解決に取り組まれていた姿勢で、本当に素晴らしいなと思ったところです。私は、工藤教育長からいろいろなことを勉強させていただいたと思っており、今後とも何かありましたら、よろしくご指導をお願いしたいと思っています。

(鈴木委員)

私も、工藤教育長が農林水産部長をされている時からのお付き合いで、農林水産業振興計画を策定する時に、私が好き放題意見を言っても、うんうんと聞いてくださりました。私の長男が大分県の農業クラブの会長を拝命し、ホルトホールで挨拶をした時に、工藤教育長から「お母さんによろしく」と名刺を渡された様子を学校の教頭先生が見ていて、教頭先生から「お母さんは何をしている人なのですか」と言われた時に、教育長になられたことを知りました。その時は、まさか私が教育委員になるとは思っておりませんでしたので、この長い期間、近くでいろいろなことを学ばせていただいたことは、本当にいい勉強になりました。

保護者として、ただ教育を受ける側、教育をしてもらう側で見ていた世界が、教育委員会の中に入って、皆様のご苦労を知ることができたことは、本当によい経験になっています。

県内全ての保護者を代表してお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。

(岩武委員)

6年前、私が学校現場から教育委員会事務局に戻ってきて、高校教育課長をしている時に、教育長になられたと思います。その当時は、まだまだたくさんの課題があって、実習船の問題や三重総合高校久住校の寮の問題などがありました。私たちが課題はありながらもどうしたらよいかわからなかった時に、工藤教育長は、しっかりと課題に切り込んでいただいて、現場に寄り添いながら、子どもたちにやるべきことはしっかりやるということを教えていただきました。その結果、実習船を新しく作ることができ、久住校も久住高原農業高校として立派な形でスタートすることができました。

また、農業高校生の収穫祭など、いろんな新しいことを始めたりすることもできました。

工藤教育長は、長い間、知事部局の職員として勤務されていましたが、子どもたちや学校が困っていることにしっかりと寄り添って、そこを何とかして解決してあげようという気持ちが強かったので、私たちもこの6年の間でいろいろなこ

とに取り組むことができ、大分県の学校全体が変わっていったのではないかと思います。本当にありがとうございました。

(工藤教育長)

それでは、これで令和3年度第3回教育委員会会議を閉会します。
ありがとうございました。